



校長のつぶやき

福井市長橋小学校

R 3 . 9 . 2

「質問です。校長！『コロナ対策！今後の学校生活の注意点』はどんなこと？」

当面の本校における学校生活の在り方（新型コロナウイルス感染症対策）については、『長橋小学校「新しい生活様式Ver.4」』を配付してお伝えしておりますが、デルタ株中心の第5波の注意点について、専門家の意見や考え等をご紹介します形でつぶやきます。

【愛媛県立衛生環境研究所：四宮博人 所長】

《要約》

三つの対策ポイント

- 一 熱やだるさなどの体調不良を感じた場合は、迷うことなく休むこと。
- 一 ものすごく小さなマイクロ飛沫が数時間（2～3時間）に渡って空気中を漂い、「エアロゾル感染」の恐れがあるため、教室は窓を開け、換気（できれば二方向の常時換気）を徹底すること。
- 一 「不織布マスク」はウレタンマスクや布マスクよりも高性能であることを理解すること。

確かに、マスクについて、最近、特にデルタ株の流行に伴い、「不織布マスク」の有効性が報道等で伝えられていることを見聞きします。

このことについて、福井市学校保健会の会長を務める医師は、豊橋科学技術大学の実験結果をもとに、以下の内容を示してくださいました。

【吐き出し飛沫量】

マスクなし100%とすると、
 ■不織布20% ■布マスク18～34% ■ウレタン50%

【吸い込み飛沫量】

マスクなし100%とすると、
 ■不織布30% ■布マスク55～65% ■ウレタン70%

*ウレタンマスクは、加水分解していくため、洗うたびに劣化し、飛沫除去機能が落ちる。使用回数が表示されているため、回数を守って使用しなければならない。

学校では昨年度に引き続き、施設技師は「子どもたちに感染させてはならない」という強い信念のもと、毎朝（児童の登校前）、校舎内各所の消毒作業および換気を行い、児童を迎えています。また、担任等も児童が下校した後に、各教室の共有箇所を毎日消毒しています。

猛威をふるうデルタ株に対し、児童や私たちが感染しないよう、今後も感染症対策に努めて参ります。ご家庭内での健康観察等のご協力につきましても、引き続きよろしくお願ひいたします。